

大学生と一緒に、地域の魅力を再発見しよう

ふるさとSDGs ~甲賀でつながる30日~

立命館大学を中心とした大学生が11月の1カ月間、子どもから大人まで楽しみながら市の魅力を学べるイベントを市内各地で開催します。



あなたは甲賀市の魅力を紹介できますか。

日本全国で人口減少が問題となっており、甲賀市も若者を中心に都市部への転出が続いています。

「ずっと甲賀市に住んでいると当たり前すぎて気付かないまちの魅力を再発見し、皆さんに知ってほしい。」

そんな思いをもとに、立命館大学などに通う大学生が集まり、甲賀市の歴史や文化を学びながら、外部

の人の視点から発見した地域の魅力を発信すべく「ふるさとSDGs ~ 甲賀でつながる30日~」を開催します。



▲地域の方から甲賀市について学ぶ学生

イベント内容は現在企画中

大学生は期間中、市内の空き家に住み込んで、地域住民や地元企業と連携しながら、市内各地でイベントを開催する予定です。



忍者や信楽焼、お茶、薬といった甲賀市の文化を、SDGsの視点を取り入れて、楽しく学べる企画を考えています。ご期待ください！

[SDGs(エスディーゼーズ)とは]
「Sustainable Development Goals」の略称で、2015年9月の国連サミットで決められた国際目標です。2030年までに達成すべき「17のゴール」とより具体的に示した「169のターゲット」から構成されています。

※SDGsおよびイベントの詳細は特設サイトまで



問合せ 政策推進課 政策推進係
☎69-2105 ☎63-4554

◆まちをスカーレット色に
—のれん・のぼりを販売中—
「まちのどこかにスカーレット色が見えるまちなみ」づくりの一環として、スカーレット色の「のれん」と「のぼり」を作成しました。
ご参加いただける事業所・店舗に有償（実費相当額）で配布します。市内がスカーレット色で染まるよう、皆さんのご参加をお願いします。
のれん1枚 1700円
のぼり1枚 500円
（竿やポールは含みません）



▲のれんのイメージ

◆パークアンドライド駐車場を整備
紫香楽宮跡駅前にパークアンドライド用の無料駐車場（約90台分）を整備しました。国道307号の渋滞緩和を図るため、車を停めて音楽高原鉄道をご利用ください。ドラマに関連したラッピング列車も運行しています。



◆関連情報は協議会ホームページを
検索
協議会のホームページができました。観光やグルメ情報をはじめ、交通情報、協議会ロゴを利用した商品等の紹介もしています。今後、ドラマの盛り上がりとともに、内容を充実させていきますのでご覧ください。



問合せ
観光企画推進課 ロケーション推進室
☎69-2198 ☎63-4087

ドラマのある 甲賀市

「スカーレット」放送スタート

9月30日から甲賀市を舞台とした連続テレビ小説「スカーレット」が始まりました。

今回は、ヒロインを演じる戸田恵梨香さんのインタビューと、「スカーレット」で甲賀を盛り上げる推進協議会の取り組みについて紹介します。

「スカーレット」
ヒロイン 川原喜美子役
戸田恵梨香さんインタビュー

No. 1

「スカーレット」に出演すること が決まったときのお気持ちは何？

戸田さん…出演のお話をいただいたのが昨年の8月ごろで、どういう役をやるかもわからなかったのですが、ちょうど8月に30歳を迎え、それを機に20代でもやもやしていたことを断捨離すると決めていました。余分に持ち過ぎてしまった「物」や「思い」を捨ててみたときに、自分の中に空間ができ、そのタイミングで、「朝ドラ」のヒロイン



NHK提供

のオファーをいただいて、心にすうつと入ってきました。

撮影期間は約1年。1年を通してひとりの女性を演じるなんて未知の世界ですし、大変な撮影。これまでの私だったら、恐怖とか、1年同じ役を演じてどうなんだろうって疑問に感じていたと思うんですけど、逆に1年間同じ役を演じられるってそんなにいたくなことはないなと、ひとりの女性の生涯を演じられることの奇跡を感じる事ができました。

撮影に際しては大変なこともあると思いますが、自分の進化を期待すると

ともに、スタッフさん、そして共演者の皆さんと一丸となって頑張ってきたんです。今まで自分が「朝ドラ」をやるなんて夢にも思っていなかったの不安ではありますが、スカーレットを通して情熱、愛情を深く伝えていけたらうれしいです。しっかりと喜美子を生きていきたいと思っていますので、よろしく願います。

放送を楽しみにしている視聴者の 方々へのメッセージをお願いします。

戸田さん…喜美子は本当に元気で、関わっている人たちがすべてを笑顔にする、頼りにされるような存在です。見てくださっている皆さんにもすごく元気を与えられるのではないかなと思います。とっても素直でまっすぐでいきいきとした人間なので、たくさん視聴者の方が「親心」を持って喜美子を見てくださる予感がしています。たくさん大変なことや壁にぶつかりますけど、喜美子がついて自分の中で答えを出していくのが見どころだと思います。

喜美子は、ひとりでもつらそうな顔の人がいると、自分が気づかなかったせいだとか、自分が情けないと感じるくらい、人に対して懐が深く、愛情が本当に深い人です。その愛情深さが、見てくださっている方に届けばいいな

と思います。皆さんに元気を与えられる作品になっていると思いますので、ぜひお楽しみに！
※戸田さんのインタビューは次号に続きます。

おもてなし準備着々と 「スカーレット」で甲賀を盛り 上げる推進協議会

◆協議会ロゴでドラマの舞台をPR
協議会のロゴマークができました。陶芸に欠かせない火や甲賀の山々を連想させるデザインに、フランス語で「緋色」を意味する「エカルラート」の文字を添えています。



協議会では、このロゴを市内事業者等の皆さんに活用いただき、ドラマをイメージした物産開発や広報活動を展開していきます。
ロゴマークの利用方法など詳しくは、市ホームページまたは協議会ホームページをご覧ください。